キッチンセット Ⅰ

流し台

取付・設置説明書

この説明書はお客さまに必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

この表示を実行しないで取付・設置すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⚠注意

この表示を実行しないで取付・設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

本製品のホルムアルデヒド発散区分

	表示内容	
1	商品名	キッチンセット
2	企業名	株式会社 LIXIL
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認下さい。
6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	P B　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
7	本表示に関するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXはキッチン取扱説明書（ウラ表紙）に記載

⚠警告

電気・ガス・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
接続や、固定が不完全な場合は、発煙や火災、漏水の原因になります。

⚠注意

取付完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

排水パイプはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。 管工事
使用中に排水パイプがつまりシンクから水があふれて、床を汚すおそれがあります。

排水管の接続部は、説明書に従って、必ずシールをする。 管工事
接続部にスキマがあると、不快な臭いや、カビの発生原因となります。

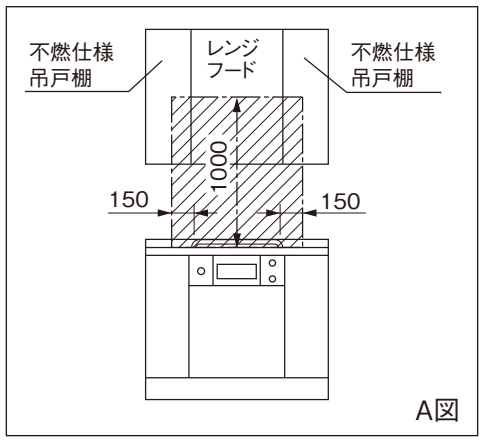
キッチンに組込まれる、電気製品・加熱機器・レンジフード・その他の機器については、それぞれの製品の取付・設置説明書・本体の注意表示どおり正しく取付・設置する。
思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。 管工事 キッチン取付・設置

据付け・仕上げ工事に使われる、溶剤、接着剤、洗剤、その他の薬品類については、容器などに記載の注意事項に従う。
正しく使わないと、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。 キッチン取付・設置

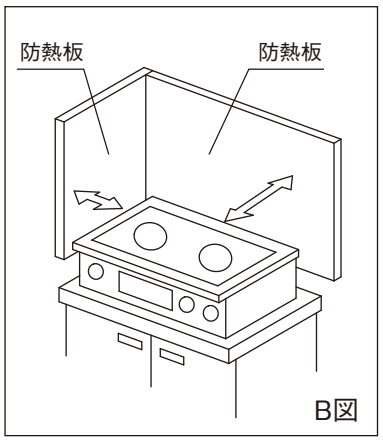
キャビネットを設置する際には水平・垂直のレベルを出す。
水平・垂直のレベルがでていないと、正しく取付けることができません。 キッチン取付・設置

■取付・設置前の確認

1.設置場所の水平・垂直・コーナーの直角度などのレベルが出ているか確認してください。
2.給湯水管・排水管の位置を確認してください。
3.レンジフードの電気配線・排気口の位置を確認してください。
4.加熱機器の配管、および配線接続位置を確認してください。IH機器の配線接続位置を確認してください。
5.アイレベルユニットなどの電気配線位置を確認してください。
6.吊戸棚を取付ける壁面の強度、桟（さん）が入っているかの確認、また、天井吊りする場合は天井の強度、照明付きの場合は電気配線の位置確認をしてください。
7.注文した製品と納入された製品の左右勝手、ガス種、周波数などを確認してください。また、付属部品の有無を確認してください。
8.火災予防条例（東京都）ではA図の斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。斜線内にはいる吊戸棚やレンジフードに隣接する吊戸棚については不燃仕様のものを設置してください。これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。（防火上有効に仕上げられていない壁面と加熱機器との距離が150mm以上とれない場合は防熱板を取付けてください。（B図））
9.壁面がキッチンウォールシステム「サンウォーレ」で仕上げられている場合は、加熱機器と壁は、75mm以上あけてください。加熱機器の熱でキッチンウォールシステム「サンウォーレ」が変色するおそれがあります。



A図



B図

■取付・設置時の注意

●梱包は設置する時点であけてください。その際、キズがつかないよう十分注意してください。

●取付時は、流し台や調理台、コンロ台の天板の上にのらないでください。

■扉の調整・製品のレベル調整

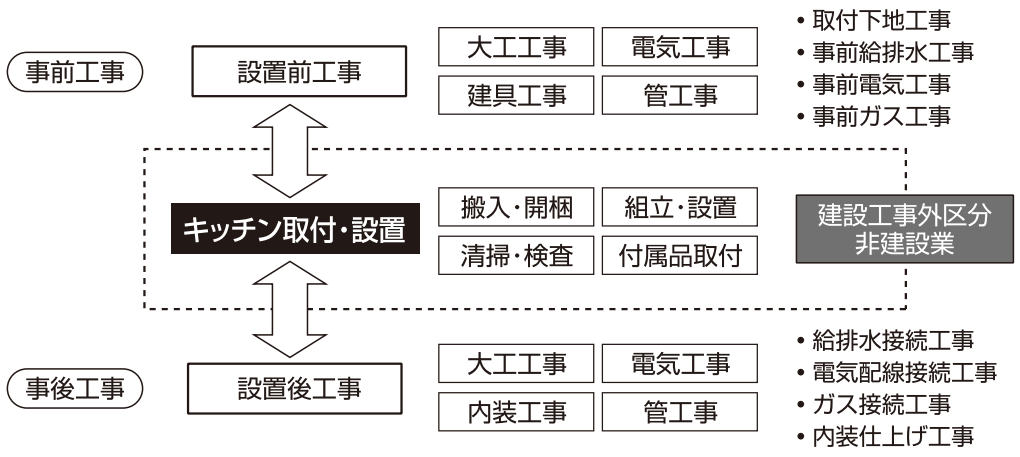
下記の方法で調整してください。

ほとんどの場合「調整方法①、②」で調整できます。

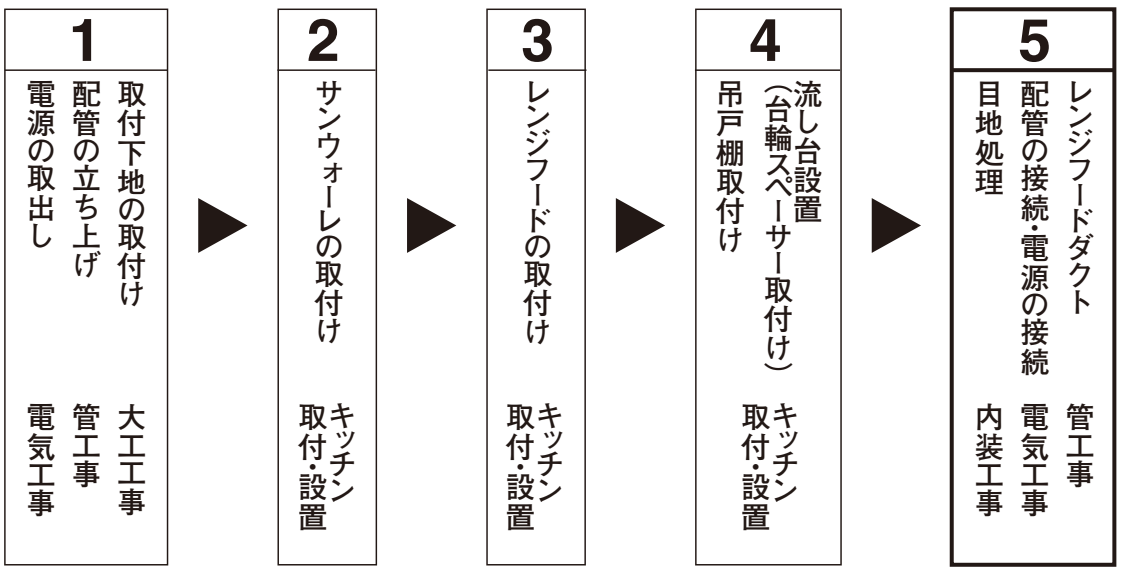
調整方法①　製品のカドに木片等をはさみ込み、扉の上端が一直線になるように調整してください。

調整方法②　①の方法で調整できなかった場合は、丁番のネジをゆるめて調整し、ネジを締めつけてください。スライド丁番の場合は、項目4の扉の調整方法に従い調整をおこなってください。

■「キッチン取付・設置」とユニット工事区分



■設置手順

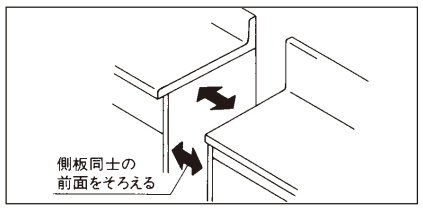


1 キャビネットの設置

⚠注意 扉は、傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないように取付ける。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

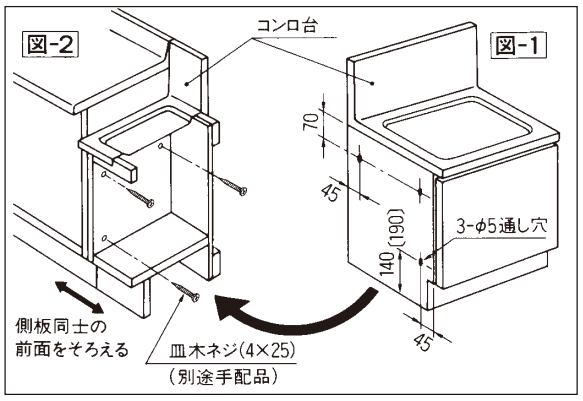
1 キャビネットの設置

①流し台、調理台、コンロ台などを仮置きします。
②各キャビネット同士の側板の前面の面合わせをしてください。



2 キャビネットの連結（木製キッチン、コンロ台）

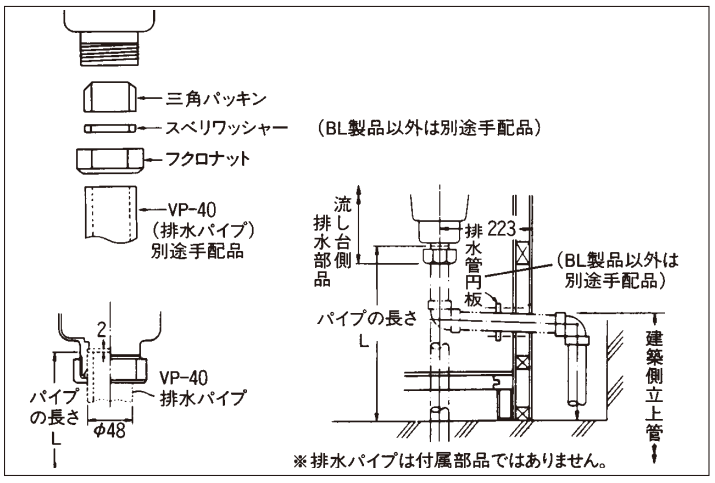
コンロ台と流し台又は調理台のキャビネット同士の連結は、図-1のように側板に穴開けをしてから、図-2のように皿木ネジ(4×25)で連結してください。
※〔　〕内寸法は、台輪スペーサーを使用した場合です。



2 直管排水の接続について

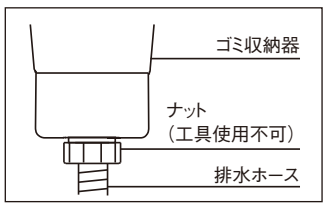
（BL製品・公営住宅など） 管工事

ゴミ収納器付排水トラップと下水管を直接接続する場合は、次のように取付けてください。
①背板または、底板の必要な位置に穴(φ100mm以下)を開けてください。
②排水パイプ(VP-40)を図のように通し、建築側の立上管と接続してください。
③排水管円板を穴にはめて、穴をかくし、背板または底板にネジ止めしてください。



3 排水ホースの取付け

❗ 排水ホースとゴミ収納器の接続ナットを手で確実に締付ける。
（出荷時は仮締め状態です。）なお、工具は使用しないこと。



①排水ホースを可動円板と防湿キャップに差し込んでください。
②排水ホースを排水管に差し込んでください。

●排水管ホースの接続について

❗ 排水管は床面より30～50mmの間で立ち上げる。
注意:立上げが長いとビルトイン機器の排水が逆流します。

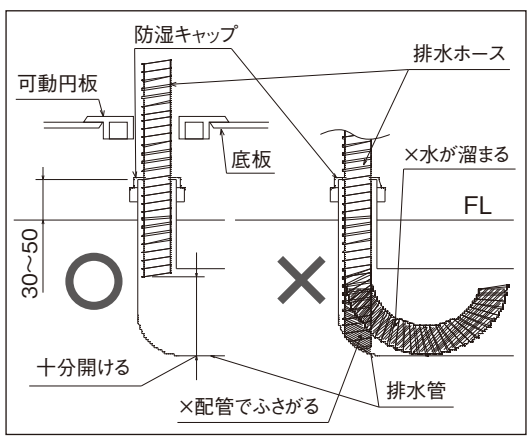
❗ 排水ホースをダブルトラップにならないようにして排水管に差し込む。また排水ホースが長い場合は排水管の立ち上げ寸法に合わせて先端をカットする。
注意:排水ホースが長いとホースの内部に排水が残り、水の流れが悪くなります。

❗ 防湿キャップを排水管の穴がしっかりふさがるように押し込む。
注意:防湿キャップの押し込みが不完全だと、漏水や悪臭の原因になります。

❗ 排水ホースは曲がり・たるみの無いように差し込む。
注意:排水ホースに曲がり・たるみがあると、排水ホースがあばれ、排水ホースが破れることがあります。

❗ 排水ホースの先端が配管によりふさがれないように差し込む。
注意:排水ホースの先端がふさがれてしまうと、ゴミが詰まりやすくなり、水の流れが悪くなります。

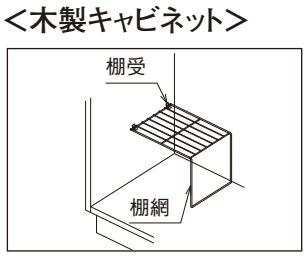
※防湿キャップは、VP−40,VP−50,
VU−40,VU−50に対応します。



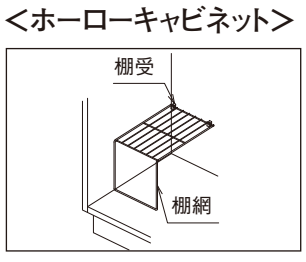
4 棚網の設置

棚網は、棚受に確実に差し込み、設置してください。

＜木製キャビネット＞



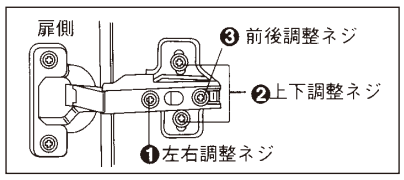
＜ホーローキャビネット＞



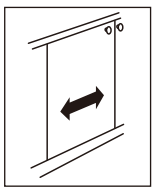
5 扉の調整方法（スライド丁番の場合）

⚠注意 扉調整終了後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

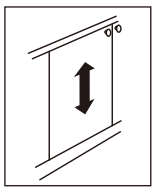
扉の調整は丁番の❶・❷・❸のネジによって調整できます。
※❷・❸のネジをゆるめすぎると扉がはずれることがありますのでご注意ください。



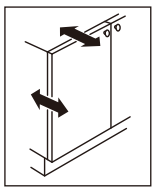
●左右調整
❶のネジを右に回すと丁番側に移動し、左に回すと丁番の反対側に移動します。



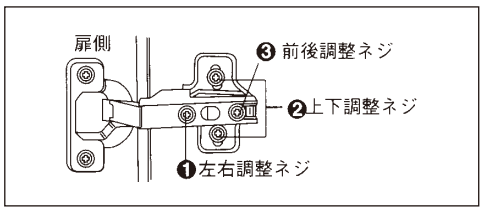
●上下調整
上下に扉が片寄っている場合は、❷のネジを緩めて座金の位置を調整します。（上下2ヶ所の丁番を調整してください）



●前後調整
前後の開きは❸のネジで調整できます。



●扉を取外したいとき
❸の前後調整ネジをゆるめます。取外す際は、扉をしっかり支えながらおこない、扉やキャビネットを傷付けないよう気をつけてください。



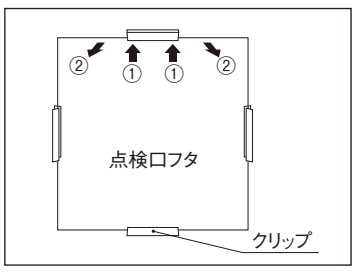
●調整後の確認
扉調整後は、すべての丁番の❷と❸のネジが締め付けられていることを確認する。

❗

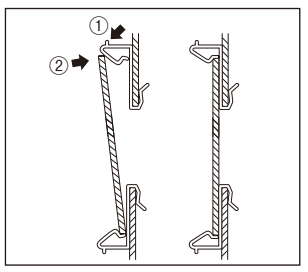
6 点検口の取り外し方

＜木製キャビネット＞

●点検口フタの外し方
①クリップを上に押し上げながら
②フタを手前にひいてください。

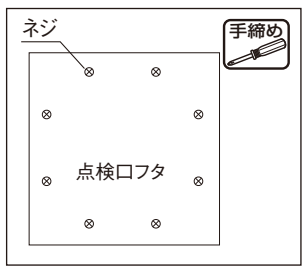


●点検口フタの取付け方
①クリップに指をかけて
②フタを押し込んでください。



＜ホーローキャビネット＞

●手まわしドライバーで点検口を固定しているネジを外してください。



7 設置後のお願い

1. 清掃と養生

●設置後のキャビネットや扉のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶液または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、扉やキャビネットの表面をいためます。
●流し台のトップやシンク内に水道工事などの鉄粉、鉄くず、砂などが落ちている場合は必ず水で洗い流してください。もらいサビの原因になります。
●取付後、内装工事などの後工事がある場合は養生をおこなってください。

2. 取付・設置後のチェック

●キャビネットが壁面に確実に固定されているか確認してください。

⚠注意 扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを確認する。
ゆるみ、ガタつきがあると使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

●排水パイプの接続が確実にされているか確認してください。

3. 後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。

4. 廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

BL認定品の保証について

BL認定品は取付・設置の不具合に係る保証期間は、シンクの防水機能、キャビネット本体の剛性については5年間、その他の不具合については2年間です。
また、BL認定品には取付・設置の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。取付・設置説明書等で指示された取付・設置方法に適合する方法で取付・設置をおこなった者は、上記保険の被保険者として、取付・設置に関する瑕疵担保責任、及び瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際には保険金を請求することができます。
BL認定品は流し台の扉の裏面にBLマーク証紙が貼付されています。

株式会社 LIXIL
http://www.lixil.co.jp/

13.02.IB
5120276